

編輯室の内外

だ。併し商工省起案の産業合理化案では少々心もとない。

産業の原動力としても言ふべき交通問題を

閉却して、産業の合理化を策するが如きは、

ことの本来を顛倒してゐる。失業救済事業

だつて唯だ失業者を救済するだけの消極策

夫れに投するだけの金が融通出来る位なら

其の金を以て失業者を無からしむる爲に合

理的の事業を計畫すべきだ、此事にも氣附

かず國帑を支出してゐるのは無産黨に對す

る胡虜化し策。愚案と言ふより外に言葉は

無い、成る程民政黨だと言はるる位に國民

の實生活に即した政策を實行して貰ひたい

ものだ、夫れを切に希望する。

本誌から登載しだした萬國工業會議に附

議された路政問題は、讀者各位に多大の參

殘寒二月と言ふのに陽春四月頃の陽氣、

世が民政黨の天下と爲つた爲に、櫻を咲か

して祝ふ天意でもあるまい、が併し下院に

絶對多數を得た内閣は何となく尻の落付き

が可い、是から吾々は御手並を拜見する譯

だが、モ一天下を取つた以上は飽く迄も消

極一點張りではなからう、と言ふやうな臭

がして何となく春らしい。従來の道路政策

は政友會内閣が樹てたものだ、之を繼續し

て豫算を増額するやうなことは、政友會の

尻馬に乗るものぢやと言ふやうなケチな考

を捨て、産業合理化の手段として我が路

政の爲に積極政策を採つて貰ひたいもの

考と爲るであらう、漸次登載して日本側か

ら提出したものも併せて紹介する積りだ。

本誌に登載すべく寄せられた、宮本武之

輔君や平山泰治君の玉稿を載せることの出

來なかつたのは頗る遺憾だ、不惡お許しな

願ひたい。(路政價)

本誌定價 五十錢

一ヶ年分 金六圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省内

發行所 社団法人 道路改良會

發行兼 編輯者 小島 效

東京市小石川區諏訪町五六

印刷所 常磐印刷所

印刷者 堀江 關 武